

「広大な海を守る海上保安庁」

日時：6月23日(火)16:50-18:35(5限)
オンライン講義によるライブ実施

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、海上保安庁次長 上原 淳 氏からお話を伺います。

広大な領海や排他的経済水域等を有する世界屈指の海洋国家である我が国にとって、平和で豊かな海を守り、国民の安全・安心を確保することは極めて重要です。

近年、尖閣諸島周辺海域における中国公船による度重なる領海侵入や大和堆周辺海域における外国漁船による違法操業、激甚化する自然災害の頻発など、我が国を取り巻く情勢は予断を許しません。

本講義では、それら情勢を概観するとともに、広大な海を守る海上保安庁の取り組みを紹介し、軍組織ではない海上保安機関の重要性について理解を深めて頂きたいと存じます。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生もアクセス願います。
(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方はアクセス出来ません。)

※オンライン授業URLは授業開始前にUTASで確認すること。資料はITC-LMSIにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に事前配布する。
※授業の実施形式に変更ある場合にはHPにおいて周知するので注意すること。

—問い合わせ： 交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp—



海上保安庁
次長
上原 淳 氏